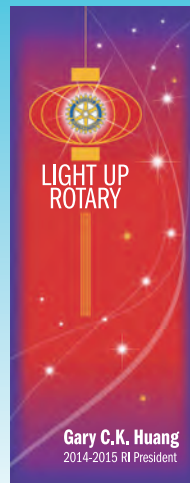


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2570

No.11 May 2015 Governor.Motohiko-Sakamoto



水子貝塚公園（富士見市）

【写真提供：富士見市】

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	ミャンマーの寺子屋訪問	5
会長エレクト研修セミナー	2	都市連合会	7
第7回全国ライラ研究会報告	2	コーディネーターニュース	8
米山記念奨学生オリエンテーション及び		表彰者	9
カウンセラー会議報告	3	新会員のご紹介	10
会員基盤セミナー報告	3	5～6月のスケジュール	11
所沢西RC創立30周年記念パーティー	4	2015～2016年度 ロータリー米山記念奨学生名簿	11
飯能RC創立50周年記念パーティー	4		



国際ロータリー第2570地区
2014～2015年度ガバナー
坂本 元彦
富士見ロータリークラブ

地区事務所

〒355-0028
埼玉県東松山市箭弓町2-5-14（紫雲閣3F）
TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571
E-mail: d-office@mail.rid2570.gr.jp

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2570地区
ガバナー 坂本 元彦

今年度も余す所2カ月となりましたが、思い起こせばここまであったという間の事でした。会員の皆様も同じ思いではないでしょうか。人生と同じく個人のロータリー活動は永遠の時を刻めるわけではなく、止まる事のない時間に流され、この様な思いと成るのでしょうか。悔いの無い時を過ごしたいものです。

ロータリーの究極の目的を簡単に言えば、親睦や奉仕活動、国際理解や親善等を通じて世界から貧困、飢餓、文盲、紛争やポリオ等を無くして世界平和を実現することにあります。高柳育行ガバナーエレクトは、次年度戦略計画委員会を立ち上げました。地区やクラブの長期目標を今まで以上に直接的に設定するという意義ある委員会であり、またこの戦略計画はロータリーの不連続性の連続という視点からしても、変えては成らないロータリー精神の下、単年度制の良い点であるフレキシブルな計画と長期計画の利点を融合させた効果的なロータリー・クラブ作りに大いに役立つ事でしょう。この戦略計画の目的は、国際ロータリー（RI）とロータリー財団（TRF）の方向性を1つに定め、3つの優先項目①クラブのサポートと強化、②人道的奉仕の重点化と増加、③公共イメージと認知度の向上を柱として16の目標を指針として掲げ、ロータリーの未来に向けての発展を目指しています。ロータリーの優先活動には6つの重点分野があります。①平和の推進、②疾病との闘い、③きれいな水の提供、④母子の健康、⑤教育の支援、⑥地元経済の成長です。

戦略計画の3つの優先項目に含まれる16の目標を推進して、6つの重点分野と関連した優先活動を行う事で、クラブが強化され、新たなリーダーが育ち、ロータリーが楽しいものになるでしょう。同時にクラブや地区や地域社会は平和な状態になると思います。世界中のクラブでこれが行われたなら世界平和に通ずるのです。成功させる第一歩は、クラブの短所が在ればこれを全会員で認識し、プログラムや奉仕活動等の不備があれば戦略計画に基づきこれを是正していく事です。このための最も重要な事は、目標に向かい一丸となるための情報を会員が共有し、且つ共通認識を持ち、常日頃から例会やセミナーに出席し、ロータリーの友を読み、「My Rotary」へのアクセスをして国際ロータリーの考え方や方向性、地区や各クラブの現状を理解しておくことだと思います。ここには地区やクラブの種々の情報が埋まっています。宝の山です。

先月に会員の皆様への一助として、地区より各クラブにアクセス方法を送り済みですのでご活用下さい。戦略計画を作り成功させるように頑張りましょう。

よろしくお願いいたします。

会長エレクト研修セミナー開催報告

2015年3月15日 於：紫雲閣

次期（2015～16年度）地区幹事 茂木 聡（本庄RC）

2015年3月15日、高柳育行ガバナーエレクトにより紫雲閣での会長エレクト研修セミナーが行われました。高柳ガバナーエレクトは1月の国際協議会から帰国後、2月の地区チーム研修セミナー等において、次期RI会長テーマ「世界へのプレゼントになろう」のもとに、地区テーマ「ロータリーの心を実践しよう」を掲げて各部門に方針を伝えてまいりました。PETSには地区内ロータリークラブ会長エレクトが出席し、鈴木秀憲次期地区研修リーダーはじめ主だった次年度地区役員が参加致しました。当日は石川嘉彦パストガバナーの基調講演「会長エレクトへ望むこと」を頂き、各部門委員長ほか主要委員会より地区方針に沿ったそれぞれの部門の方針発表がなされ、最後に坂本元彦ガバナーによる講評がありセミナーが終了致しました。一日の長きにわたり参加者全員が熱心に参加される姿を見て、「世界へのプレゼントになろう」が実践される予感を感じたセミナーであったと報告致します。



第7回全国ライラ研究会報告

2015年3月22日
於：国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議場

青少年奉仕部門 ライラ委員長 石田 善雄

さる3月22日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センター国際会議場において「第7回国際ロータリー全国RYLA研究会」が開催されました。午前10時の点鐘で始まり、午前中は国際ロータリー元会長の田中作次氏が基調講演Ⅰ「新世代奉仕とRYLA」という演目の中で、「ロータリアンは他者のために思いやりの心を持ち、平和に向かって世界をより良いものにする努力をしあう団体であり、5番目の奉仕部門となった青少年奉仕部門に積極的に関わっていかなければならない。」旨の話をされました。また国際ロータリー元理事の南園義一氏が基調講演Ⅱとして「RI戦略計画と青少年奉仕」という演目の中で「青少年奉仕は、若い世代が平和の実現のために行動する意欲を高め、世代から世代へと平和の探求を深めていくような養成をしなければならない。異文化を体験し、見識を広め、深めるために時間をかけて行う価値あるものであることを認識して、青少年奉仕に反映させていかなければならない。」と話されました。午後は各地区の情報交換の時間となり、四国の方の地区では「余島」という小さな島で3泊4日の集団生活を通して研修会をされている地区もあり、地域においてかなりの差がある事を確認でき、参考となりました。最後に全員で記念撮影をし、5時解散となりました。

米山記念奨学生オリエンテーション及びカウンセラー会議

2015年4月4～5日 於：国立女性教育会館

ロータリー米山記念奨学部門委員長 忽滑谷 明

4月4日(土)～5日(日)に国立女性教育会館に於いて、2015学年度米山記念奨学生のオリエンテーション並びにカウンセラー会議を実施いたしました。

4日のオリエンテーションでは、18名の奨学生に対し6人ずつのグループ分けをし、ロータリークラブの概要やロータリー米山記念奨学会について、また奨学生の心構えや世話クラブ、カウンセラー制度について、米山記念奨学部門の活動と学友会の活動についてなど、それぞれ各セッションごとに計約6時間の研修を行いました。



5日のカウンセラー会議では、高柳育行ガバナーエレクトの点鐘、ご挨拶に続き、部門委員長より出席者の紹介を行い、各世話クラブのカウンセラーさんと奨学生との初対面となりました。その後、「米山記念奨学生となって」というテーマで、まだ緊張が解れない奨学生全員から3分間スピーチをしていただきました。

新奨学生達は、5月より各世話クラブにお伺いしお世話になります。また、米山月間では各クラブでの卓話や地区の行事等でお世話になると思います。ロータリアンの皆さんの暖かいご指導を宜しくお願い申し上げます。

会員基盤向上セミナー出席報告

2015年3月30～31日 於：ホテルオークラ

RI公共イメージコーディネーター補佐 パストガバナー 鈴木 秀憲

本セミナーでは、2日間で事例発表者を含めて40名近くの方のお話がありました。

紙面の都合上、夫々を全て報告する事は出来ませんが、特筆すべき点並びに心に触れた点を報告します。

RIコーディネーター 金杉誠氏(私の年度の地区大会でRI会長代理を務めた方)の発表
テーマ「国際ロータリー戦略計画 と クラブ地区戦略計画立案の必要性・作り方」

- RI戦略計画は、3つの優先項目と5つの中核的価値観で構成されている。
- 3つの戦略計画は夫々関連性を持ち、人道的奉仕をすれば公共イメージが向上し、公共イメージが向上すれば会員が増え、クラブの強化に繋がる。クラブが強化されれば人道的奉仕が増加し、公共イメージは更に向上する…良い循環になる。
- 戦略計画とは長期(中期)計画の事。RIのみならず地区やクラブでも戦略計画を立てて実行する必要がある。地区やクラブの戦略計画はRIの戦略計画と同一である必要はないが、全く無関係では困る。
 - ・先ずはロータリーの目的を明快に＝ロータリーは「SERVICE」を学ぶ場
 - ・全員参加の話し合いが最も効果的＝民主主義の基本＝経営の基本
 - ・前向きに、悪口を言わず、全員が必ず意見を言う＝アイデア交換
 - ・我がクラブは何ものなのか？ 3～5年後どうあるべきか？

最後に一言 ロータリーは強制されるものではないが、皆が力を合わせて行わなければ成就する事は難しい。

所沢西ロータリークラブ創立30周年記念パーティー

2015年3月27日 於：椿山荘

室伏 秀樹（所沢西RC）

坂本ガバナー初めご来賓の方々をお迎えし、都内文京区「椿山荘」において、3月27日（金）に開催しました。

残念ながら3月中旬以降の、春爛漫には程遠い寒波により、姉妹クラブ台湾花蓮・吉安ロータリークラブからの13名の仲間は震え上がっていました。

午前中は所沢の花見を予定していましたが、急遽変更した家電買い物ツアーに歓喜していました。

第30代鈴木会長（女性初の会長）は、挨拶で所沢RCをスポンサークラブとして早30年、最高時85名の会員も現在は36名、和気あいあいのまとまったクラブです。思い返すと所沢市自治連合会様のご協力により「書き損じはがきの回収事業」を17年間真剣に行い、総額「2,884万円」という2570地区随一の実績を示すことができました。

ネパールに学校を10校単独で作し、里親支援も行いました。

小規模ながら、これからもロータリー精神を忘れずに、世の中のために役立つ奉仕活動を行っていくことを誓いました。



飯能ロータリークラブ創立50周年記念パーティー

2015年4月4日 於：ヘリテージ

山川 莊太郎（飯能RC）

4月4日飯能RC創立50周年の式典を、ヘリテージにて行いました。

広い会場も狭く感じられるほど多勢のロータリアンが集まり、盛大且つ厳粛に挙行されました。

そして、国際ロータリー元会長田中作次様より記念講演を頂きました。

メイン記念事業として、飯能駅南口に森林文化都市をイメージした鍛鉄による素晴らしいモニュメントの時計塔を飯能市に寄贈しました。また、飯能加治中学校の吹奏楽部の皆さんには、昨年同様本年度も関東大会・東日本大会で金賞・銀賞がとれますよう、ティンパニーを寄贈し、記念演奏もしてもらいました。

そして、飯能ロータリー旗（三脚用・吊り下げ用）2旗を50周年の記念として、中里昌平実行委員長に寄贈して頂きました。大きなフラッグは日本でも最新の機械による最高の技術の織物です。坂本ガバナーには、お祝いの言葉を頂き、財団と米山に寄付しました。そして、記念誌委員会の皆様のお陰で立派な50周年記念誌が当日にお配りできました。

ご来賓の皆様、ご出席頂きありがとうございました。



ミャンマーの寺子屋訪問

国際奉仕部門委員長 新島 修一（深谷ノースRC）

ロータリーの国際奉仕の大きな柱の一つに国際支援があります。当地区の委員会の皆様も、世界の中で困っている人々を少しでも多く助けることができれば、という気持ちで頑張っております。

今年度の支援委員会のメイン行事は、ミャンマーの寺子屋の現地視察と、これからの支援金の額と現地とのレールづくりを探る事です。

昨年度、中井ガバナーの御協力をいただき訪問計画が具体的になり、年度をまたぎましたが、昨年11月に5名の委員会メンバーで、5泊7日でミャンマーの寺子屋視察が実現いたしました。メンバーは高丹委員長（深谷）・田島副委員長（行田さくら）・梅澤委員（深谷ノース）・田中委員（熊谷）と私です。

＜地区国際奉仕支援金の支援先の変遷＞

かつて当地区の会員数が2800名の時は、各クラブから地区に寄せられる国際奉仕の支援金額は合計で450万円位集まっていた。そして、それを日本ユネスコに寄付していたのですが、感謝状1枚だけでは何とも張り合いがないという事で、「目に見える支援」の他に「支援金が100％に近い形で現地に届く支援」を目標に努力しております。フィリピンの小学校への学用品の支援、タイの小学校に飲料水のろ過装置は現地のロータリークラブを通じて支援しているプログラムです。

ロータリーの特色は「インターナショナル」です。地区内のクラブが提携している海外の姉妹クラブを通じて行う支援プログラムが最良の方法だと思います。そして、1つのプログラムは長くても5年で1区切りをつけるのが良いと思います。

海外の現地に支援金を送るのに一番重要なポイントは、現地に支援金を信頼して送れるキーマンがいるかどうかという点です。そして当地区の委員会にも、そのプログラムが終了するまではキーマンが残らないとダメという事です。ロータリーの国際奉仕は、交流委員会にも、支援委員会にも5年以上のベテランが何人も残っていますが、そのメンバーが個と個の信頼関係を築いておりますので、プログラムが円滑に進んでいく様は、まったく政治の国際交流と同じです。

＜今泉清詞パストガバナー（川越）との出会い＞

委員会の最古参の金子幸男委員（新座）から、今泉パストガバナーが個人奨学金で、ミャンマーの留学生に毎月4万円を2年間支援し、1年に20名、65歳の時から20年間続けられ、育った学生は200名近くになる。というお話を聞き、今泉さんを委員会にお招きして、なぜミャンマーの学生に奨学金を支援するようになったのかを、お聞きいたしました。

今泉さんは終戦を当時のビルマで迎え、約一年間イギリス軍に追われて、ビルマの地を敗走する中で、どこに行ってもミャンマーの人々に親切にかくまってもらい、食事まで与えてもらい、ビルマだったから私は生きて帰れたという話を、熱い思いを込めて語られました。ミャンマーの留学生に対する奨学金は、そのお礼の気持ちでご恩返しです、との事でした。

私が思うに、今泉さんのやってこられた奨学金支援は、日本のロータリアンの中でも特筆すべき活動で、できる人は何人もいないだろうと思います。そして、又、今泉さんが築いてこられたミャンマーとの絆を、当地区で継承しなければもったいないと感じています。

その後、委員会でミャンマーへの寺子屋支援を当初30万円でスタートする事を決め、昨年・一昨年の2回、今泉さんの紹介でミャンマー大使館へ行き、大使に手渡しという形でお届けいたしました。その時、大使館のスタッフで、今泉さんの奨学金を受けたティーさんというドクターと知り合い、今年度の国際奉仕セミナーの時、今泉さ

んのお話と共に、「ミャンマーの現状」というテーマでお話いただきました。そして、更に今回の我々のミャンマー視察のガイド役も引き受けていただき、一週間ミャンマーを旅する中で、この人を通して、現地に寺子屋支援金を渡してもらうことを全員一致で決定いたしました。

<私のミャンマーに対する感想>

訪問前は、アウンサン・スーチーさんの国。3年前まで軍政だった国。今、日本企業が一番進出したいと思っている国。そんなイメージを持っていました。行って見てビックリしたのは、軍政だったという暗い面がまったくなく、人々は貧しくても明るく、生き生きしていました。それと安全面では日本と同じように、街を一人で歩く事ができました。「生活の貧しさが、人々の心を豊かにしている。」と感じました。

<日本での1万円はミャンマーでは20万円>

今回のミャンマー訪問した5名全員が、もっとミャンマーの子どもたちに支援金を増やしてやりたいと思っています。毎年3月に各クラブに、地区の支援金委員会よりお願いしております。国際奉仕支援金を、会員一名に付き2000円のご協力を切にお願いいたします。



2014-2015年度

第2570地区 都市連合会

第5グループ

2015年2月7日

第5グループガバナー補佐 井桁 憲治
(熊谷東RC)

“Service Above Self” 超我の奉仕

本日は、大変にお忙しい中、ご来賓の方々のご臨席を賜り、衷心より感謝申し上げます。

坂本元彦地区ガバナーのテーマ「行動、Action」のもと、第5グループ総勢359名のロータリアンの全員登録を頂きまして、本日第5グループミーティングがこのように盛大に開催できましたのも、本グループのロータリアン全員の思いが結集した賜物であります。

今日のグループミーティングは、ロータリアン、お一人お一人が主役であります。

特にクラブ会長・幹事の皆様には、ご理解とご協力を賜り、指導力を発揮され、子どもと共に輝くロータリーのプレゼンテーションを纏めていただきました。其々のクラブの特色と奉仕の歩みを共に学び、明日からのアクションへと邁進して参りたいと存じます。

今から110年前に、ポールPercyハリスが、シカゴで3人の友人と始めたロータリークラブは、現在201か国と地域で34,558クラブ1,220,115人(昨年10月1日)の規模に成長しました。国際ロータリーの大きな柱は、主に、人づくり(教育の支援)と世界平和、ポリオの撲滅に力を傾注した活動を展開しています。

現在の地球は、世界の人口が今日現在で、72億3593万人(推定)になり、毎日20万人増えています。1年で7000万人、1分で137人が生まれています。そのうち、子どもの人口は27%の19億5370万人です。そして、地球上の7億7600万人が非識字者です。なんと大人の5人に一人が読み書きできないのです。女性が3分の2を占めています。約5億人、お母さんが読めないと子どもも読めないという負の連鎖が止まりません。非識字とは、読み書きと計算ができないことです。世界で7500万人の子どもが学校へ通えません。多くの子どもたちは、不衛生な水を飲み、食糧や学校、病院が不足しています。20億人以上の人々がトイレの設備がなく、川で用を足し、その水を飲んでいる為、子どもの死亡率が非常に高い原因になっております。

一方、日本では飲料水をトイレで流し、食べ残しをゴミに捨て、飽食のために、生きる道を見失っている様で、有史以来の難しい問題に直面しています。又、逆に経済格差が若年層の貧困を産み、社会の不安定化になっております。日本でも世界でも、独り占めでなく、分かち合って、共に生きることが、求められているのです。

ポールハリスとはほぼ同時代に生きた医師Aシュバイツァー博士は、あなた方の運命がどうなるか、分からないが、一つだけ分かっていることがある。あなた方が幸せになれるのは、《どうしたら人類に奉仕できるかを模索し、ついにそれを発見した人だけである。》と。又もう一人の発明家Tエジソンは、《不満こそが、進歩するための鍵である。どんな失敗も新たな一歩となる。私は決して失望などしない。失敗は、これは上手いかないということを確認した成功だ。》と言い残しています。

どうか、今日お集まりのロータリアンの皆さん、ロータリーの精神を、実践することを躊躇うことなく、果敢に挑戦することを誓い、国内外を問わず、子どもたちの未来のために、奉仕のアクションを実践して行こうではありませんか。

公共イメージコーディネーター補佐(ARPIC)
RID2570 鈴木 秀憲(吹上RC)

(2015年4月10日配信)

『私なりにまとめたRI戦略計画とその実行』

2001-02年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。

“The RI Strategic Plan”当初は長期計画と和訳され、昨今は戦略計画と訳されます。以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。(Strategic Planの直訳は戦略計画です。長期計画の方が理解しやすいと感じますが、戦略計画とした方が、重要性が高いと感じる様な気がします) 2009年、RI理事会はこの大幅な見直しを行い、RIとロータリー財団が進むべき進路が一致するよう改訂し2010年7月1日から有効としています。

2015年3月30・31日に行われた会員基盤向上セミナーで、ロータリーコーディネーターの金杉誠氏に伺ったお話(RI戦略項目の3つの項目は夫々関連性を持っている)に自分の考えを加えてまとめました。

＜RI戦略計画は、3つの優先項目と5つの中核的価値観で構成されます。＞

- | | | |
|---------|----------------|------------------------|
| 3つの優先項目 | ○クラブのサポートと強化 | (ロータリーコーディネーターが支援) |
| | ○人道的奉仕の重点化と増加 | (ロータリー財団地域コーディネーターが支援) |
| | ○公共イメージと認知度の向上 | (公共イメージコーディネーターが支援) |

注目すべき点は、3つの項目が夫々関連性を持っているという事です。

即ち、人道的奉仕をすれば(結果として、世間の関心と評価は高まり)自ずと公共イメージが上がります。公共イメージが上がると(賛同者が増え、会員増強に繋がり)クラブのサポートと強化に繋がります。クラブが強化されれば(会員が増強されれば)人道的奉仕が更に進み、その結果公共イメージは上がり、会員が増えクラブは強化されます。つまり、良い循環になるという事です。この循環は、優先項目の何処から始めても(結果として)良い循環になります。大切な事は、先ず自ら始めるという事だと思います。3つの優先項目には、具体的な目標が全部で16項目明示されています。どれも実現可能な事ばかりです。着手し易い身近な事から始めましょう。

＜先ずは自分自身が公共イメージの向上を＞

公共イメージは他人に云われて認識されるものではありません。世間の方々が我々の言動を見て、良いと感じて下さる結果です。我々の言動とは抽象的な表現ですが、具体的には戦略計画を構成している5つの中核的価値観を、ロータリアン個々が大切に磨き実行する事であると思います。

- | | |
|------|---|
| ○奉仕 | 私達ロータリアンの重要な要素です。RIを通じて、或いは地区で、或いはクラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。 |
| ○親睦 | ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族や国家をも超えて得られるものも有ると思います。 |
| ○多様性 | 私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がると考えます。 |
| ○高潔性 | ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を持って活動しています。これは他人に押し付けるものではなく、自分で実践するのみです。黙っていても他人は観ています。 |
| ○指導力 | ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。 |

＜最後に会員増強について一言＞

会員増強は、どんな組織にとっても必要な事です。

しかし、大切な事は、会員増強を会員数が少ないからと云う組織の都合で行うのではなく、ロータリーへ入会して頂いて「私達と一緒に良い事をしましょうよ。」と云う気持ちやお誘いの呼びかけが無くてはならないという事です。

- ロータリーに入会すると
 - ・素晴らしい考えや実績を持つ方々との出会いがあります。
 - ・自分や職業を高める機会を得られます。
 - ・自分の住む地域に貢献する行事に、参加する事が出来ます。
 - ・世界に於いて、困っている事を解決する行事に参加する事が出来ます。
- こんな考えで、共に奉仕できるメンバーをお誘い頂きたいと考えます。

財団表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
大畑 茂
(朝霞)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
鈴木 秀憲
(吹上)



ポール・ハリス・フェロー
鳥羽 千太郎
(吹上)

米山表彰



米山功労者(5回)
栗原 平
(富士見)



米山功労者(5回)
下山 定夫
(富士見)



米山功労者(5回)
横田 正志
(富士見)



米山功労者(3回)
斉藤 重治
(富士見)



米山功労者(3回)
坂本 元彦
(富士見)



米山功労者(3回)
松本仙太郎
(富士見)



米山功労者(1回)
竹内 英明
(富士見)



米山功労者(4回)
小澤 誠邦
(行田さくら)



米山功労者(1回)
浜野 貴子
(狭山中央)

4月号掲載の所属クラブに誤りがありました。ご迷惑をおかけしましたことをお詫びするとともに、左記内容に訂正の上再掲いたします。

飯能RCより50周年記念事業として
10万円のご寄付をいただいております

● ● 新会員のご紹介 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●



氏 名 中田 庸司
ク ラ ブ 名 川越
入会年月日 2015.2.24
勤 務 先 和興建材株式会社
紹 介 者 岩堀 和久 小山 義文



氏 名 杉本 誠二
ク ラ ブ 名 川越小江戸
入会年月日 2015.1.23
勤 務 先 一善 株式会社
紹 介 者 三上 泰弘



氏 名 横田 庄平
ク ラ ブ 名 川越小江戸
入会年月日 2015.3.13
勤 務 先 横田建設株式会社
紹 介 者 三上 泰弘



氏 名 金子 貞男
ク ラ ブ 名 川越小江戸
入会年月日 2015.3.13
勤 務 先 (医)至心会
金子歯科医院
紹 介 者 三上 泰弘



氏 名 大谷 龍之
ク ラ ブ 名 川越小江戸
入会年月日 2015.3.13
勤 務 先 (株)オオタニ
紹 介 者 三上 泰弘



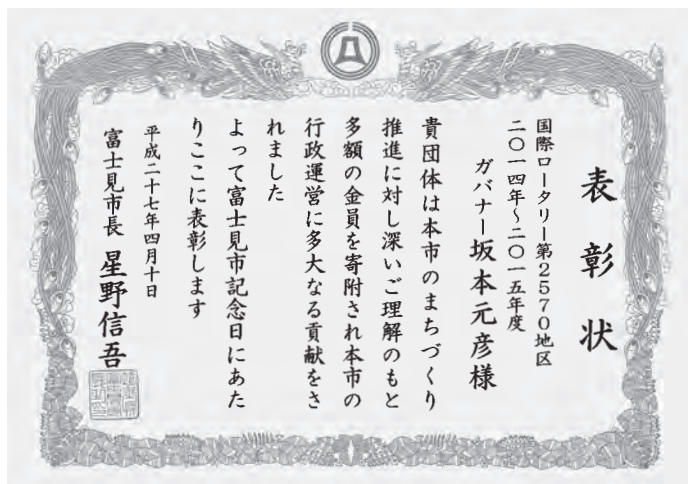
氏 名 田端 都女子
ク ラ ブ 名 狭山中央
入会年月日 2015.3.3
勤 務 先 (有)栗駒ハウス
紹 介 者 稲見 淳



氏 名 坂田 興一
ク ラ ブ 名 秩父
入会年月日 2015.4.7
勤 務 先 損害保険ジャパン日本
興亜(株) 秩父支社
紹 介 者 廣瀬 正美



氏 名 岡田 和久
ク ラ ブ 名 秩父
入会年月日 2015.4.7
勤 務 先 (株)武蔵野銀行
秩父支店
紹 介 者 廣瀬 正美



第2570地区が富士見市長より表彰されました。
表彰状が届いております。

RI2570地区 5~6月の地区スケジュール 2014~2015年度

2015年5月		2015年6月	
日	曜	日	曜
11	月	6	土
23	土	9	火
30	土	6	土
		7	日
		13	土
		17	月
		20	土



Rotary

2015~2016 高柳育行年度 ロータリー米山記念奨学生名簿



フォンゼーダー、フリデリカ
リリアン・グレイシア
ドイツ・尚美学園大学



ゲン、トゥアン
ベトナム
十文字学園女子大学



ゲン、ティトゥイ
ベトナム
東京国際大学



ゴー、イン
マレーシア
尚美学園大学



レン、リ
任立新
中国・大東文化大学



ユ、ジョン
柳姫希
韓国・立教大学



オシュルイブラヒム
烏休尔 依不拉依木
中国・東京電機大学



リ、ケン
李健
中国・東京国際大学



イ、ドック
李徳熙
韓国・立教大学



イ、ドン
李東俊
韓国・立教大学



ブイ、クイン・チャン
ベトナム
西武文理大学



ホアン、フォンチー
ベトナム
東京国際大学



タイティタンタオ
ベトナム
西武文理大学



オウ、シ
王梓
中国・早稲田大学



チョ、ウン
趙恩恵
韓国・東京国際大学



キム、ヒョン
金鉉基
韓国・早稲田大学

RI会長エレクト K.R.ラビンドラ

2015~2016年度RIテーマ

Be a gift to the world

世界への

プレゼントになろう

第2570地区ガバナー

高柳 育行 (本庄RC)

『ロータリーの心を実践しよう』



Rotary



シン、ショウニ
ネパール
駿河台大学



ヨウ、ブン
陽文丹
中国・早稲田大学

訃報 謹んで哀悼の意を表し、心からのご冥福をお祈り申し上げます。



大橋 良昭 様 (川越)

2015年3月4日にご逝去されました。

享年85才

ロータリー歴 在籍46年

1969(昭和44)年10月7日入会



原 宏 様 (川越)

2015年4月9日にご逝去されました。

享年89才

ロータリー歴 在籍24年

1991(平成3)年5月7日入会